

令和 8 年度 部活動に関する諸調査 結果まとめ

(令和 8 年 5 月実施)

【調査内容】

- 1 加須市立中学校部活動本入部加入状況調査
- 2 休日の地域クラブ指導を希望する教員の意識調査
- 3 部活動地域展開に係る保護者の意識調査
- 4 部活動地域展開に係る児童生徒の意識調査

学校教育課

加須市立中学校部活動本入部加入状況調査

令和8年度 加須市立中学校部活動本入部加入状況

(令和8年5月調査結果)

1 本市全体の加入状況 (加入率及び未加入率)

【令和8年度】加須市立中学校〈8校全体〉 ※5. 1 調査人数 ()は前年度比

	1年男子	1年女子	2年男子	2年女子	1.2年合計	3年男子	3年女子	合計
全生徒数	380	395	404	401	1580	447	445	2472
部活動 加入生徒数	322	338	344	343	1347	345	378	2070
加入率	84.7%	85.6%	85.1%	85.5%	85.3% (-2.0%)	77.2%	84.9%	83.7% (+0.3%)

(参考) 令和6年度5月時点の本市中学生の部活動加入率…85.4%

※1、2年生のみ…87.1%

令和7年度5月時点の本市中学生の部活動加入率…83.4%

※1、2年生のみ…87.3%

(1) 昭和中学校

部活動名	所属生徒数について						部員数合計
	1 学年		2 学年		3 学年		
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
陸上	10	4	6	6	10	5	41
野球	9	0	2	0	2	2	15
男子バレーボール	6		10		4		20
女子バレーボール		7		9		11	27
サッカー	8	1	9		11	1	30
男子ソフトテニス	4		7		7		18
女子ソフトテニス		6		6		10	22
硬式テニス	7	8	4	3	6	5	33
男子剣道	5		5		1		11
女子剣道		1		1		3	5
男子バスケットボール	4		7		4		15
女子バスケットボール		4		7		8	19
男子卓球	3		1		4		8
女子卓球		4		2		1	7
男子バドミントン	4		7		2		13
女子バドミントン		10		13		14	37
柔道		1	2				3
音楽（合唱）		3		1		5	9
吹奏楽	3	14	2	22	1	10	52
美術	1	15	2	12	1	9	40
科学	8	5	8	2	8	4	35
家庭科							0
各項目合計	74	86	73	92	61	93	479

	1 年男子	1 年女子	2 年男子	2 年女子	3 年男子	3 年女子	合計
全生徒数	84	88	91	100	88	111	562
加入生徒数	74	86	73	92	61	93	479
加入率	88.1%	97.7%	80.2%	92.0%	69.3%	83.8%	85.2%

(全体加入率 前年度比+2.6%)

(2) 加須西中学校

部活動名		所属生徒数について						部員数合計
		1 学年		2 学年		3 学年		
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	
陸上		9	4	10	6	5	4	38
野球		1	0	5	0	4	0	10
女子バレーボール★		0	0	0	0	0	8	8
サッカー		5	0	10	0	6	0	21
男子ソフトテニス		12	0	2	0	11	0	25
女子ソフトテニス		0	2	0	3	0	3	8
男子剣道★		0	0	2	0	4	0	6
男子バスケットボール		0	0	7	0	9	0	16
女子バスケットボール		0	7	0	5	0	2	14
男子卓球		6	0	10	0	4	0	20
女子バドミントン		0	15	0	9	0	10	34
美術		0	6	0	5	0	3	14
科学★		0	0	1	0	2	9	12
郷土芸能		1	4	1	1	0	6	13
音楽		0	4	0	2	0	3	9
各項目合計		45	34	46	48	62	38	273
	1 年男子	1 年女子	2 年男子	2 年女子	3 年男子	3 年女子	合計	
全生徒数	40	48	52	34	55	50	279	
加入生徒数	34	42	48	31	45	48	248	
加入率	85.0%	87.5%	92.3%	91.2%	81.8%	96.0%	88.9%	

(全体加入率 前年度比+4.4%)

★令和8年度から募集を停止した部活動

(3) 加須東中学校

部活動名		所属生徒数について						部員数合計
		1 学年		2 学年		3 学年		
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	
野球	7		8		4		19	
サッカー	12		7		8		27	
男子ソフトテニス	11		6		4		21	
女子硬式テニス		6		5		6	17	
男子バスケットボール	5		10		4		19	
女子バスケットボール		4		4		15	23	
男子バドミントン	1		9		23		33	
女子バドミントン		10		10		12	32	
吹奏楽		14		3		10	27	
美術	1	12		6		11	30	
科学	5	4	8	4	1		22	
各項目合計	42	50	48	32	44	54	270	
	1 年男子	1 年女子	2 年男子	2 年女子	3 年男子	3 年女子	合計	
全生徒数	57	64	66	56	66	64	373	
加入生徒数	42	50	48	32	44	54	270	
加入率	73.7%	78.1%	72.7%	57.1%	66.7%	84.4%	72.4%	

(全体加入率 前年度比-7.8%)

(4) 加須北中学校

部活動名	所属生徒数について						部員数合計
	1 学年		2 学年		3 学年		
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
野球★	0	0	0	0	2	0	2
女子バレーボール	3	2	0	3	0	5	13
サッカー	2	0	6	0	8	1	17
女子硬式テニス	3	0	0	1	1	3	8
男子バスケットボール	1	0	3	0	5	0	9
女子卓球	0	1	0	1	0	6	8
総合文化	1	0	0	2	2	0	5
各項目合計	10	3	9	7	18	15	62

	1 年男子	1 年女子	2 年男子	2 年女子	3 年男子	3 年女子	合計
全生徒数	11	5	10	7	18	17	68
加入生徒数	10	3	9	7	18	15	62
加入率	90. 9%	60. 0%	90. 0%	100. 0%	100. 0%	88. 2%	91. 2%

(全体加入率 前年度比+ 1. 8%)

★令和 8 年度から募集を停止した部活動

(5) 加須平成中学校

部活動名	所属生徒数について						部員数合計
	1 学年		2 学年		3 学年		
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
陸上	7	2	4	1	6	1	21
野球	1		2		3		6
女子バレーボール		6		9		7	22
サッカー	5		0		6		11
男子ソフトテニス	6		2		11		19
女子硬式テニス		4		7		5	16
男子剣道	4		3		10		17
女子剣道		2		0		1	3
男子バスケットボール	4		10		5		19
女子バスケットボール		4		7		5	16
男子バドミントン	6		9		6		21
女子バドミントン		3		21		7	31
吹奏楽	4	5	3	1	3	5	21
美術	0	8	0	3	0	6	17
邦楽	0	4	0	2	1	5	12
各項目合計	37	38	33	51	51	42	252
	1 年男子	1 年女子	2 年男子	2 年女子	3 年男子	3 年女子	合計
全生徒数	47	45	35	55	67	45	294
加入生徒数	37	38	33	51	51	42	252
加入率	78.7%	84.4%	94.3%	92.7%	76.1%	93.3%	85.7%

(全体加入率 前年度比- 1. 4%)

(6) 騎西中学校

部活動名	所属生徒数について						部員数合計
	1 学年		2 学年		3 学年		
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
陸上	11	9	8	7	8	7	50
野球	6	2	5	0	6	1	20
女子バレーボール	0	7	0	7	0	7	21
サッカー	7	0	7	1	12	0	27
男子ソフトテニス	4	0	1	0	4	0	9
女子ソフトテニス	0	10	0	3	0	5	18
男子剣道	5	0	3	0	0	0	8
女子剣道	0	0	0	0	0	3	3
男子バスケットボール	2	0	9	0	8	0	19
女子バスケットボール	0	1	0	9	0	6	16
男子卓球	7	0	10	0	12	0	29
女子卓球	0	9	0	4	0	7	20
男子バドミントン	7	0	13	0	5	0	25
女子バドミントン	0	11	0	16	0	5	32
吹奏楽	1	7	3	2	0	6	19
美術	0	3	0	6	0	2	11
科学	4	0	2	3	0	0	9
家庭科	0	0	0	0	0	13	13
女子ソフトボール★	0	0	0	1	0	0	1
各項目合計	54	59	61	59	55	62	350
	1 年男子	1 年女子	2 年男子	2 年女子	3 年男子	3 年女子	合計
全生徒数	62	68	67	62	63	78	400
加入生徒数	54	59	61	59	55	62	350
加入率	87.1%	86.8%	91.0%	95.2%	87.3%	79.5%	87.5%

(全体加入率 前年度比+3.6%)

★令和8年度から募集を停止した部活動

(7) 北川辺中学校

部活動名	所属生徒数について						部員数合計
	1 学年		2 学年		3 学年		
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
陸上	2	3	0	4	6	6	21
野球	7	0	6	0	6	0	19
男子バスケットボール	4		12		4		20
男子卓球	2		8		5		15
女子卓球		2		1		4	7
女子バドミントン		9		5		9	23
吹奏楽	2	6	1	5	2	6	22
美術	0	5	1	5	2	3	16
各項目合計	27	25	25	32	32	26	167

	1 年男子	1 年女子	2 年男子	2 年女子	3 年男子	3 年女子	合計
全生徒数	19	34	31	30	32	33	179
加入生徒数	17	25	28	20	25	28	143
加入率	89.5%	73.5%	90.3%	66.7%	78.1%	84.8%	79.9%

(全体加入率 前年度比±0%)

(8) 大和根中学校

部活動名		所属生徒数について						部員数合計
		1 学年		2 学年		3 学年		
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	
陸上		12	5	13	0	2	1	33
野球		3	0	1	0	8	0	12
女子バレーボール		0	11	0	9	0	6	26
サッカー		11	0	5	0	9	0	25
男子剣道		1	0	2	0	4	0	7
女子剣道		0	5	0	2	0	3	10
男子バスケットボール		6	0	10	0	6	0	22
女子バスケットボール		0	1	0	8	0	7	16
男子卓球		12	0	7	0	11	0	30
女子卓球		0	3	0	7	0	3	13
吹奏楽		3	2	1	12	1	4	23
美術		1	2	0	6	1	2	12
家庭科		4	6	1	7	0	10	28
総合文化		1	0	4	0	4	0	9
各項目合計		54	35	44	51	46	36	266

	1 年男子	1 年女子	2 年男子	2 年女子	3 年男子	3 年女子	合計
全生徒数	60	43	52	57	58	47	317
加入生徒数	54	35	44	51	46	36	266
加入率	90.0%	81.4%	84.6%	89.5%	79.3%	76.6%	83.9%

(全体加入率 前年度比－0.1%)

2

休日の地域クラブ指導を希望する教員の意識調査 (408人回答)

小学校・中学校教職員の結果について（４０８人回答）

※土日に指導できる・複数校の生徒の指導も可・指導者謝金有

（１）種目別

バドミントン…６人	ソフトボール…１人
卓球…５人	剣道…１人
バレーボール…５人	合唱…１人
バスケットボール…４人	ソフトテニス…１人
サッカー…４人	運動なら何でも…１人
柔道…２人	

（２）校種別

校種	人数
小学校	１４人
中学校	３０人

（３）職別

校長	教頭	教諭	栄養教諭
３人	１人	３９人	１人

3

部活動地域展開に係る保護者の意識調査

小5，6年保護者（802人回答）

中1，2年保護者（1，092人回答）

小学生保護者

802 人

部活動地域展開について、知っていますか。		
よく知っている	31	3.9%
だいたい知っている	233	29.1%
あまり知らない	391	48.8%
全く知らない	146	18.2%

(地域展開)について、どの程度賛成ですか。		
賛成	93	11.6%
どちらかという賛成	193	24.1%
どちらかという反対	93	11.6%
反対	31	3.9%
どちらともいえない	392	48.8%

地域展開した場合、お子さんを休日の地域クラブに参加させたいですか。		
参加させたい	265	33.0%
参加はあまり考えていない	299	37.3%
よくわからない	238	29.7%

部活動地域展開で期待していること(複数回答可)	
1位	他校の生徒と練習する機会が増える 358人
2位	こどもの自主性・地域交流が深まる 338人
3位	教員の負担軽減につながる 286人
4位	いろいろな立場の指導者から指導を受けることができる 277人
5位	多様な運動の機会が増える 247人
6位	部活動の時間・日数の柔軟性が出る 158人
7位	よくわからない 134人
8位	期待することはない 92人

部活動地域展開で懸念していること(複数回答可)	
1位	距離・送迎の負担が増える 563人
2位	活動費を払うこと 358人
3位	指導者との相性や信頼性 277人
4位	学業との両立 240人
5位	練習環境・施設の確保 196人
6位	活動の質(指導水準・練習内容) 168人
7位	活動時間や活動日数が増える 148人
8位	他校の生徒との人間関係 129人
9位	学校の顧問(教員)の指導を受ける機会が減る 94人
10位	よくわからない 93人

地域クラブに参加する費用について(保護者が希望する負担額)	
1位	月額1,000～2,000円 225人
2位	月額2,000～3,000円 185人
3位	月額0円(負担したくない) 156人
4位	月額500～1,000円 141人
5位	月額3,000円以上 95人

中学校保護者

1092 人

部活動地域展開について、知っていますか。		
よく知っている	45	4.2%
だいたい知っている	476	43.6%
あまり知らない	454	41.6%
全く知らない	117	10.6%

(地域展開)について、どの程度賛成ですか。		
賛成	105	9.6%
どちらかという賛成	242	22.2%
どちらかという反対	120	11.0%
反対	40	3.6%
どちらともいえない	585	53.6%

地域展開した場合、お子さんを休日の地域クラブに参加させたいですか。		
参加させたい	372	34.2%
参加はあまり考えていない	438	40.1%
よくわからない	282	25.7%

部活動地域展開で期待していること(複数回答可)	
1位	他校の生徒と練習する機会が増える 567人
2位	こどもの自主性・地域交流が深まる 436人
3位	いろいろな立場の指導者から指導を受けることができる 402人
4位	教員の負担軽減につながる 358人
5位	多様な運動の機会が増える 247人
6位	部活動の時間・日数の柔軟性が出る 201人
7位	よくわからない 168人
8位	期待することはない 68人

部活動地域展開で懸念していること(複数回答可)	
1位	距離・送迎の負担が増える 986人
2位	活動費を払うこと 563人
3位	学業との両立 462人
4位	指導者との相性や信頼性 417人
5位	練習環境・施設の確保 309人
6位	活動の質(指導水準・練習内容) 258人
7位	活動時間や活動日数が増える 239人
8位	他校の生徒との人間関係 215人
9位	学校の顧問(教員)の指導を受ける機会が減る 184人
10位	よくわからない 162人
11位	その他(自由記述) 54人

地域クラブに参加する費用について(保護者が希望する負担額)	
1位	月額1,000～2,000円 325人
2位	月額500～1,000円 270人
3位	月額2,000～3,000円 238人
4位	月額0円(負担したくない) 171人
5位	月額3,000円以上 88人

1. 小学校保護者の分析

- 認知度：「あまり知らない」「全く知らない」の合計が約67%にのぼり、中学校保護者と比較して地域移行に関する情報が十分に届いていない。
- 賛否・参加意向：賛成・反対の意見よりも「どちらともいえない」が約49%と非常に高く、制度の具体像が見えていないことによる様子見の姿勢が強い。
- 期待：「他校生徒との交流」や「自主性の向上」など、交流をとおして成長してほしい期待が高い。
- 懸念：圧倒的に「送迎の負担」への不安が強く、次いで「活動費」「指導者への信頼性」が続いている。
- 費用負担：「1,000～2,000円」が最多だが、0円～1,000円を希望する保護者も一定数おり、低負担を求める傾向が見られる。

2. 中学校保護者の分析

- 認知度：「よく知っている」「だいたい知っている」が約48%であり、小学校よりも認知度は進んでいるが、依然として半数以上は十分な理解に至っていない。
- 賛否・参加意向：小学校と同様、「どちらともいえない」が53.6%を占める。参加意向については「あまり考えていない」が約40%と、参加に慎重な保護者が一定数いる。
- 期待：小学校と同様「他校生徒との交流」が1位だが、「教員の負担軽減」よりも「いろいろな立場の指導者からの指導」が上位にランクインしており、小学校よりも指導の質に対する関心が高い。
- 懸念：小・中ともに「送迎負担」が最大の懸念点であり、特に中学校では数値が非常に高く、活動範囲が広がることで移動の負担が課題となっている。
- 費用負担：1,000～2,000円が最多だが、小学校よりも「500～1,000円」を希望する層が2位に入っている。

3. 全体分析（共通の傾向と課題）

- 「情報提供」が必要
 - 小・中ともに「どちらともいえない」という回答が最多である。地域展開の目的やメリット、具体的な運営イメージをより丁寧かつ分かりやすく周知することが、必要である。
- 「送迎・移動」が課題
 - 小・中すべての回答者において「距離・送迎の負担」が懸念点の1

位である。地域クラブの活動場所や、送迎を伴う保護者の負担をどう軽減するか、活動場所を決めるかあるいは、活動場所をローテーションするか検討が必要である。

- 期待と懸念

- 「他校生徒との交流」や「指導者の多様性」という教育的メリットは評価されている一方、「費用」や「指導者の信頼性」といった現実的な運営課題に強い懸念を示している。

- 費用負担の適正ライン

- 多くの保護者が「月額1,000円～2,000円」を想定していますが、これを超える費用が発生する場合、参加率が低下する可能性がある。受益者負担のあり方と、就学援助の対象家庭等への支援のバランスについて検討が必要になる。

- 「質」への懸念

- 「指導者との相性や信頼性」「活動の質」が懸念点の3位～6位以内に入っている。活動の受け皿を作るだけでなく、指導者の確保・研修体制や、活動内容の質を担保する仕組みづくりが保護者の安心感に繋がると考える。

4

部活動地域展開に係る児童生徒の意識調査

小5，6年児童（1，422人回答）

中1，2年児童（1，432人回答）

中学校1・2年生(1,432人回答)

	はい		いいえ	
部活動に入部していますか	1259	87.9%	173	12.1%
部活に入っていない理由 (複数回答可)	習いごと(運動・文化、塾)をしている			78
	早く帰りたい			2
	勉強がしたい			23
	入りたい部活がない			19
	面倒くさい・疲れる・だるい			16
	家庭の事情(手伝い、門限、親がやならくて良いという等)			8
	退部した			9
	やりたいことがほかにある			8
	運動が苦手			1
	特に理由はない			10
中学校で参加する部活動とは別に、「休日は別の運動を選べる」「他の学校の友達と練習することができる」となった場合、その活動に参加してみたいですか。	はい		いいえ	
	616	43.0%	816	57.0%
それは、どのような種目ですか。(複数回答可)	サッカー	134	野球	38
	バスケットボール	150	陸上競技	155
	ソフトテニス	71	硬式テニス	47
	バレーボール	166	バドミントン	215
	卓球	119	柔道	20
	剣道	43	吹奏楽	86
	書道	44	弓道	61
	新体操	14	空手	22
	ドッジボール	102	クライミング	26
	ダンス	108	スケートボード	22
	合唱	34	ギター	84
	太鼓	30	パソコン	39
	水泳	81	ピアノ	89
	ソフトボール	6	ラグビー	12
	相撲	3	科学	3
	演劇、料理、スキー、プログラミング			各1

【中学校1・2年生 意識調査のまとめ】

1. 多様なニーズへの対応

スポーツのみならず、ダンスや楽器演奏、プログラミング(パソコン)など、学校の枠組みを超えた活動を求める声が強く、個人の興味関心が非常に多様化している。

2. 「両立」の壁

外部のクラブチームや習い事と部活動のスケジュールが重なることで、部活動を諦めるケースが散見されます。活動の柔軟性が高まれば、再び活動に参加したいと考える層も一定数存在する。

3. 学習・家庭環境との調和

学業に専念したい、あるいは家族との時間を大切にしたいという意見もあり、加入が自由選択制になったことで生徒に多様な価値観が見られる。また、家庭の事情の中には放課後デイに行っていることや家の門限、保護者または兄弟がが入らなくてよいといわれている家庭もある。

小学校5・6年生(1,422人回答)

	はい		いいえ	
中学校に進学したら、部活動に入りたいですか	1242	87.3%	180	12.7%
部活に入りたいくない理由 (複数回答可)	習いごと(運動・文化、塾)をしている		90	
	早く帰りたい		20	
	勉強がしたい		17	
	入りたい部活がない		14	
	面倒くさい・疲れる・だるい		11	
	家庭の事情(手伝い、門限、親がやならなくて良いという等)		8	
	考えていない、検討中		8	
	自分の時間が減る、遊びたい、ゆっくりしたい		5	
	友達と遊びたい		5	
	怒られる、先輩が怖そう、上下関係が嫌		4	
	集団行動が嫌い、みんなとやるのが嫌		2	
	特に理由はない		21	
中学校で参加する部活動とは別に、「休日は別の運動を選べる」「他の学校の人達と練習することができる」となった場合、その活動に参加してみたいですか。	はい		いいえ	
	757	53.2%	665	46.8%
それは、どのような種目ですか。(複数回答可)	サッカー	43	野球	16
	バスケットボール	63	陸上競技	196
	ソフトテニス	86	硬式テニス	18
	バレーボール	17	バドミントン	224
	卓球	108	柔道	20
	剣道	53	吹奏楽	47
	書道	33	弓道	45
	新体操	33	空手	46
	ドッジボール	165	クライミング	29
	ダンス	87	スケートボード	31
	合唱	34	ギター	46
	太鼓	33	パソコン	66
	水泳	134	ピアノ	82
	ソフトボール	25	吹奏楽	47
	相撲	2	ラグビー	9

【小学校5・6年児童 意識調査のまとめ】

1. 部活動への高い意欲とニーズ

回答者の約87%が中学校での部活動入部を希望しており、意欲は非常に高い。
特にバドミントン、陸上競技、バスケットボール、バレーボールの人気の高い。
入部を希望しない理由は「習い事」が非常に多い。

2. 多様な活動へのニーズ

「休日などの別活動への参加」については、半数以上の児童が前向きな関心をもっている。
学校の部活動を超えた多様な種目(ドッジボール、水泳、卓球、ダンスなど)への需要が見られる。
既存の部活にはない新しい種目や、より専門的な練習環境を求めている可能性がある。

3. 新たな環境整備の必要性

「入りたい部活がない」という意見に対し、学校部活動にない、またはニーズの高い地域クラブの立ち上げが有効と推測される。
学校外の団体、または新たな地域クラブと連携した活動モデルを構築することで、多くの児童の意欲を満たせる可能性がある。

4. その他

スポーツだけでなく、吹奏楽やパソコン、音楽系など文化的分野への関心も根強く、文化芸術活動ができる場の提供が必要である。
部活動に入りたいくない理由として「面倒くさい」「疲れる」という回答もあり、自己本位な傾向も少数見られる。